

ドングリ（堅果類）の豊凶調査2020～ツキノワグマ出没予測～

東京都の山にはツキノワグマが生息しています。ツキノワグマは夏の終わりに秋にかけてドングリ（堅果類）の実を好んで食べます。山のドングリ類の豊凶（実り具合）と、ツキノワグマの人里への出没には関係があると考えられており、東京都レンジャーは毎年、奥多摩、御岳、檜原、高尾周辺のドングリ（堅果類）の豊凶調査を行っています。（調査は独立行政法人森林相互研究所の「ツキノワグマ出没予測マニュアル」に基づいて、平成25年度より毎年実施しています。）

今年の結果ですが、以下のようにになりました。

- ミズナラ : 凶作
- クリ : 並作
- コナラ : 並作
- ブナ : 豊作



30秒間に見られるドングリ（堅果類）の個数を双眼鏡で見ながらカウントし、係数をかけて算出します

新レンジャー紹介 ～小笠原地域の新しいレンジャー2名です～

みぎたゆうき

右田裕基（父島担当）

令和2年4月より父島レンジャーに赴任しました右田です。小笠原へは初来島となります。来島した初日、夕昏時に家の上空をオガサワラオオコモリが飛んでいる姿がとても印象に残っています。巡視中は多くの動植物を見つけます。岐阜で育った私にとって、島の中で独自の進化を遂げた生きもの達の姿や生態への興味が尽きることはありません。今、小笠原へは多くの方が自然や文化を楽しみに来島しています。これからずっと美しく、素敵な自然に皆さんが会えるために、自然と人をつなぐ役目であるレンジャーの仕事を精一杯やっていきたいと思ひます。これからどうぞよろしくお祈いします。



たやいお

田谷以生（父島担当）

9月から父島地区の都レンジャーとして赴任しました田谷以生（たやいお）と申します。2年前まで父島で環境省のアクティブレンジャーとして勤務していました。青い海と鮮やかな緑の美しい小笠原の自然と、個性豊かな人々が忘れられず、戻ってきました。小笠原の自然の美しさ、面白さだけでなく、直面している課題や対策についても島民や観光で訪れた皆さんに知っていただきたいと思ひます。利用者の皆さんに安全に小笠原の自然を楽しんでいただけるよう、歩道や公園施設の維持管理なども頑張っていくしますので、よろしくお祈いいたします。



みんなで守ろう「東京都自然公園利用ルール」

トレラン編

トレイルランニングを楽しむ方へ

- ⑭ 「追い越し・すれ違いのときは歩きましょう」
- ⑮ 「混雑時は歩きましょう」
- ⑯ 「登山道の路面が悪いときは歩きましょう」



コロナ感染防止のため、声かけよりも、会釈や合図がオススメです。休憩時のマスク着用もお忘れなく！

走りながらの追い越しは危険です。周りの歩行者に配慮しましょう。

東京都レンジャーの業務

1. 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 2. 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 3. 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 4. 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551